

平成30年度 印西市立原山中学校 全国学力・学習状況調査の結果について

印西市立原山中学校
校長 関根 寿典

秋晴の候、保護者の皆様におかれましては益々ご健勝のこととおよろこび申し上げます。生徒にとっても学習に集中できるよい季節となりました。

さて、本年度 4 月 17 日に 3 学年生徒を対象に行われました、「全国学力・学習状況調査」の結果が判明しました。受験した 3 年生の生徒につきましては、個票を配布しております。本校全体の傾向につきましては、以下にまとめましたので、ご一読いただき参考にしていただければ幸いです。

記

1. 本校生徒の結果・分析

国語

生徒質問紙(以下質問紙と略記)の「国語の試験時間」についての回答から見ると、「時間が余った」、「ちょうどよかった」が大半で、余裕を持って試験を受けられたようです。国語 A(主として知識)は本校の平均正答率(以下「本校」と略記)は、全国平均(以下全国と略記)を少し下回りました。「話すこと・聞くこと」の領域では、本校は全国を上回っています。

設問の、8 三「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う設問」で 7 問中 6 問が全国を上回りました。2 二「異なる意見の内容をひとつの文に書きまとめる設問」、6 一と二「話し合いについての設問」、8 の一・二「漢字書き取りの設問」でも同様です。

他方、8 六 3「古典についての設問」は全国を大きく下回りました。「矛盾」の語源についての設問でしたので、正答率が低かったのが残念です。

国語 B(主として活用)については本校は全国と同じでした。観点・領域ともに「話す・聞く」について、全国を上回っています。国語についての「関心・意欲・態度」も全国を上回りました。設問では 2 一～三「質問の意図や話の進め方についての設問」と 1 二『天地無用』の意味を示す効果を選択する設問が全国を上回りました。設問の形式では「記述式問題」の正答率が良好でした。作文指導や話し合い・発表が実を結んだと思われます。今後も意欲的に国語の学習に取り組んでほしいと考えます。

数学

質問紙の「数学の試験時間」についての回答では「時間が余った」,「ちょうどよかった」が大半を占めました。但し、質問紙の「最後まで回答を書こうと努力しましたか」では、2「書く問題で書かなかつたり解答を途中で諦めた」が全国を上回った点が残念です。

数学 A(主として知識)については、本校は全国を数ポイント下回りました。設問の 1 (1)「数直線上の負の整数値を求める設問」と 4 (3)「長方形を回転移動させる設問」は全国を上回りました。反面 3 (1)「等式の性質の設問」、5 (1)～(4)「立体に関する設問」、6～8「平面図形に関する設問」、1 1「一次関数の設問」、1 4「資料の整理についての設問」、1 5「確率についての設問」で苦戦していました。いずれも学力検査や入学試験で確実に出题される内容ですので、必ず復習をしてください。

数学 B(主として活用)では、本校は全国とほぼ同じでした。領域では「関数」が良好でした。設問の 1 (1)～(3)「確率についての設問」、3 (1)～(3)「距離と時間、グラフの読み取り方やその根拠についての設問」で本校は全国を上回りました。他方 4 の(1)～(3)「証明の設問」はいずれも全国を下回りました。こちらも学力検査や入学試験で確実に出题される内容ですので、必ず

復習をしてください。

理科

理科についても質問紙の「試験時間」についての回答では「時間が余った」，「ちょうどよかった」が大半を占めました。理科については本校は全国を数ポイント下回りました。

設問では，5（1）「神経系の働きについての知識設問」，1（1）「光の反射についての設問」，2（1）「無脊椎動物・軟体動物の身体づくりについての設問」，3（2）「太平洋高気圧についての設問」についてもそれぞれ本校は全国を上回りました。

その一方で，9（1）「葉の蒸散についての設問」，4（3）「原子・分子モデルについての設問」，6（1）「電流計についての設問」，8（1）「アルミニウムの元素記号についての設問」は全国を下回りました。理科については時間をかけて1・2年の学習内容を見直す必要を感じます。

生徒質問票から

本年度は理科が実施されたため，質問紙の項目がかなり絞られました。質問紙からは(5)いじめはどんな理由があってもいけないと思う，(7)朝食を毎日とる，(12)家で学校の授業の予習・復習をしている よくする，(14)1日の学習時間が3時間以上，(23)地域社会などでボランティア活動に参加，(26)ニュース番組(テレビ・ネット・携帯端末で)をよく見るなど，本校が全国を上回っています。

その一方で，理科・数学に対して「苦手意識」が見て取れる回答が多いと感じました，苦手意識を何とか克服する取り組みが必要だと感じます。

平成30年度全国学力・学習状況調査 4/17実施 対象3年生

	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
全国（公立）	76.1	61.2	66.1	46.9	66.1

国語A:主として知識 国語B:主として活用 数学A:主として知識 数学B:主として活用

国語A	領域①	領域②	領域③	領域④	観点②	観点③	観点④	観点⑤	選択式	短答式
全国平均	75.2	73.9	76.7	76.5	75.2	73.9	76.7	76.5	76.8	74.7

国語B	領域①	領域②	領域③	領域④	観点①	観点②	観点③	観点④	観点⑤	選択式	記述式
全国平均	76.6	31.3	53.5	49.2	50.3	76.6	31.3	53.5	49.2	66.7	50.3

注) 領域①: 聞くこと, 話すこと ②: 書くこと ③: 読むこと ④: 伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
 観点①: 関心・意欲・態度 ②: 話す・聞く能力 ③: 書く能力 ④: 読む能力 ⑤: 言語についての知識理解

数学A	領域①	領域②	領域③	領域④	観点③	観点④	選択式	短答式
全国平均	71.1	69.1	55.5	63.5	70.4	63.3	61.5	70.7

数学B	領域①	領域②	領域③	領域④	観点②	観点③	選択式	短答式	記述式
全国平均	51.4	46.7	52.8	38.0	45.1	51.3	61.5	56.2	27.9

注) 領域①: 数と式 ②: 図形 ③: 関数 ④: 資料の活用
 観点①: 関心・意欲・態度 ②: 数学的な見方や考え方 ③: 数学的な技能 ④: 知識・理解

理科	枠組み①	枠組み②	第1分野		第2分野		観点①	観点②	観点③	観点④	選択式	短答式	記述式
			物理	化学	生物	地学							
全国平均	67.9	64.9	74.4	65.0	72.5	57.8	74.0	64.9	67.0	68.7	70.9	70.2	50.1

注) 枠組み①: 主として「知識」に関する問題 ②: 主として「活用」に関する問題
 観点①: 関心・意欲・態度 ②: 科学的な思考・表現 ③: 観察・実験の技能 ④: 知識・理解